



きりんぐみだより H28・3月号

しゃかいふくくしほうじんしやうとくふくしかい なまむぎほいくえん
社会福祉法人 尚徳福祉会 生麦保育園



はるいちばん 春一番が吹き、さくらの 蕾も膨らんで暖かな日が続いています。自然界は春の準備完了です。きりん組も、進級の準備が着々と整いつつあります。子どもたちの言葉の中にも、自分達が年長組になるんだという自覚が感じられます。今まで泣き虫だった子も涙をぐっとなえ泣き笑い。友だち同士喧嘩をしても直ぐに『ごめんね』の言葉が言えるようになり、一人ひとりの成長が感じられます。きりん組での時間を楽しく過ごしていこうと思います。



おまつりごっこ

2月16日きりん組主催のおまつりごっこを行いました。たこやき、ヨーヨー、さかなつり、かき氷など夏から少しずつ準備してきました。当日は、どれも人気がありましたが中でもかき氷はすぐに売り切れるほどでした。「いらっしゃいませ」「アツアツのたこやきです」など大きな声で呼び込みをしたり、小さいクラスの子には優しくわかりやすいように話しかけをしていました。自分たちも楽しみましたが、お客さんに来てくれた子どもたちも、とても喜んでくれて大成功でした。



ぞうぐみさんへのプレゼント作り

卒園式の時にぞう組さんが付けるコサージュをつくりました。最近折り紙で蛇腹折りが流行しているので、これを生かしてお花紙で花を作ることにしました。一つ一つ年長組さんへの感謝の気持ちを込めて、丁寧に作っていこうと思っています。



節分・恵方巻き

節分の数日前から子どもたちは鬼の話でも盛り上がっていました。怖いような怖くないような・・・「怖かったら先生が助けてあげるからね」と言うと言い安心した表情になっていましたが、園庭の窓に鬼の角の影が映ると部屋の中央に自然に集まっていた。窓から入ってきた赤鬼と青鬼。豆を投げる事を忘れ逃げ惑う子ども達でしたが、時間が経つと慣れてきたのか果敢に豆をぶつける子も出てきました。去年、泣いた子も「今年は泣かなかったよ」と言っていました。次に恵方巻き作りに挑戦。グループを二つに分け気持ちを一つに合わせ「せーの！」と長いのり巻きをぐるりと巻いて恵方巻きの完成。切り口を見ると「わ～！」と歓声が上がっていました。その後皆で美味しく頂きました。

この一年間、成長した子どもたち。心身ともにぐんと伸び運動会、おたのしみ会、お祭りごっこ等の大きな行事、にこにこまん活動を経験して4月とは違う、たくましい子どもたちの姿が見られるようになりました。保護者の皆様には、色々ご協力していただきありがとうございました。

